

群馬県立 前橋高等学校



校訓

質実剛健・気宇雄大

(誠実さと大きな器量を備える人物を育てる)

本校は伝統を引き継ぎ、新たな社会の創造に寄与する、社会のリーダーの育成を目指しています。個性や可能性を伸ばし、未来を切り拓く人材を育てるために、文武両道の精神をもとに全人教育を行います。



学校行事

- | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------------|----------------------|---|-------------------|----------------|-------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|--|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 第1回校内模擬試験(実力テスト) 新入生オリエンテーション 入学式・1学期始業式・対面式 | 校内駅伝大会 1学期中間考査 県高校総体 | 1学期期末考査 蛟龍祭(文化祭)隔年実施 | 1学期終業式(夏期補習) 優曇華(音楽三部合同演奏会) 三者面談 校内競技大会 | 2学期始業式 学習合宿(夏期補習) | 定期戦(高崎高校との対抗戦) | 1・2年課題研究校内中間発表会 2学期中間考査 | 2学期期末考査 1年研修旅行(大学・企業訪問) 2年沖縄研修旅行(3泊4日) | 3年冬期集中学習会 2学期終業式(冬期補習) 3年第3回校内模擬試験 | 3年大学入学共通テスト 1・2年内実力テスト 3学期始業式 | 1・2学年末考査 3年大学入試(国立前期) | 校内競技大会(3学期終業式) 前橋高校Olympic研修 卒業式(3年大学入試(国立後期)) |

教育方針

三兎を追え

二兎を追う者は一兎をも得ず……
前高生はこの常識を覆す。

学習、部活動、行事 全てにおける成功。

これら「三兎」を追い、全てを得る。
心を燃やして青春を謳歌し
己の限界を打破するための環境が
ここ**前高**にはある。



前高生(健児君)の1日

6:00~ 起床 今日の授業の予習で1日が始める。	5	7:20~ 登校・朝学習 静かな図書室で課題を進めておく。	
8:45~ 授業(1校時) 授業開始。どの教科も工夫をこらした高度な授業が55分間続く。	6	8:30~ 朝のSHR 連絡を聞いて1日の流れをつかむ。	
10:45~ パンを購買で購入。放課後の部活動前に楽しみができた。	7	11:50~ 昼休み 蛟龍館1階の学生食堂でランチ。日替わり定食は500円。	
12:35~ 授業(4校時) 午後の授業も集中。早朝の予習が生きた。	8	12:35~ 授業(4校時) 午後の授業も集中。早朝の予習が生きた。	
16:00~ 部活動 放課後は校庭で練習。短時間に集中することで効率的に。	10	20種類以上のメニューから選べる学生食堂。麺類と日替わり定食が人気。	
18:30~ 下校 前橋駅からJRで帰宅。電車内では英単語帳を開いて確認。	11	20:00~23:00 家庭学習 授業の復習と課題で基礎を確実に。早めにふとんへ。	
	12		
	13		
	15		
	16		
	18		
	19		
	21		
	23		

仲間と考え、協力しながら探究する。

友と師と舞う 学びの空

学習

授業では、理解を深める演習や、自身で考え表現する活動の時間を確保し、知識をしっかり定着させることで、**確かな学力**につなげます。

生徒と教員が一体となった質の高い授業が**高い学力を育成**します。

授業の特色

○2年次から類型分け（文系・理系）

2年に進級する際に、自分の能力・適性、将来の進路希望を考慮し、文系・理系のどちらかを選択します。

○習熟度別少人数制指導（数学・英語）

令和6年度は、下記の科目できめ細やかな習熟度別少人数制指導を行っています。

- ・1年生 「論理・表現Ⅰ」（2単位）
- ・2年文系 「英語コミュニケーションⅡ」（4単位）
- ・2年理系 「英語コミュニケーションⅡ」（4単位）
- ・3年文系 「探究数学」（5単位）
「英語コミュニケーションⅢ」（4単位）
- ・3年理系 「数学Ⅲ」（4単位）
「探究数学詳解」（3単位）
「英語コミュニケーションⅢ」（4単位）

○地歴2科目受験に対応する教育課程

大学進学に重点をおいた教育課程となっており、東大など地歴2科目受験にも対応します。

○1年次芸術では3科目から選択

入学時に、履修を希望する芸術科目を音楽・美術・書道の3科目から選択することができます。

○ALT とのチームティーチング授業の実施（英語）

全学年で定期的実施しています。オリジナルの教材を使用して、アカデミック・ライティングスキルの習得を目標に、生徒主体で活動します。



前高1年生健児くん的时间割例（書道を選択）

		月	火	水	木	金	カセット
	SHR	8:30～8:40					
1	8:45～9:40	SS数学 I A I B	英コミュ I	英コミュ I	現代の国語	SS生物基礎	現代の国語
2	9:50～10:45	言語文化	歴史総合	SS数学 I A I B	英コミュ I T T	論表 I	SS数学 I A I B
3	10:55～11:50	SS情報 I	SS物理基礎	書道 I	SS数学 I A I B	SS数学 I A I B	保健
4	12:35～13:30	歴史総合	体育	論表 I	SS物理基礎	体育	
5	13:40～14:35	書道 I	SS数学 I A I B	言語文化	SS生物基礎	地理総合	
6	14:45～15:40	英コミュ I	探究 (SS情報)	LHR (~15:35)	地理総合	探究基礎	
	SHR・清掃	15:40～					

※「カセット」について…55分授業のため、カセット3コマ分が週ごとに曜日を変えて午前か午後に入る。



ペア・グループワーク、ディベートなど、深い学びを



ICTを活用！全教室にプロジェクター・スクリーン完備



英語の活用と習熟に力



令和7年度
生徒会長
後藤 旬穂
前橋市立芳賀中学校

やっほお、金の卵たち〜！このパンフレットを手にとってくれてありがとう。そんな君たちに、率直にひとつ言わせてほしい。

「前橋高校で、己を試してみないかい？」
……会長の挨拶には砕けすぎじゃない？って思ったその君。うん、正解。けど、それこそが前高の本当の魅力。
この「自由さ」が、生徒一人ひとりの可能性を無限に広げてくれる。やりたいことをとことん探究できるし、何より、それを全力で取り組める「環境」がここにはある。
私自身、前高での日々は驚くほどあっという間に感じています。それは、毎日が濃密で、そして最高に楽しいからだと思います。「質実剛健・気宇雄大」
この言葉を胸に、私たち前高高校生は日々成長しています。未来のリーダーは、ここから生まれる。未来のイノベーターは、ここから羽ばたく。未来の日本はここから創られる。ここまで聞いて、「いや〜前高ってレベル高すぎない？自分なんかじゃ無理かも…」なんて思ったかもしれない！
……でもね、そんなことはまったくない！
君が「前高を目指したい」「行こうか迷っている」「未来を変えたい」と思っているのなら、まだ全然間に合う。すべてはここから。君の努力次第で未来はいくらでも変えられる。このパンフレットを手にとった君は、本当に運がいい。なぜなら、今日の瞬間に、君自身の可能性は確実に広がったから。人生100年時代。そのうちのたった約7ヶ月を本気で努力して、これからの85年のスタートを、前高で切ってほしい。来年の春、可能性に満ちた君を——前橋高校は、心から待っています！



ALT Mitchell 先生からのメッセージ

English class at Maetaka is lots of fun. You will use English comfortably and grow your intellectual curiosity at the same time. Our lessons will take you around the world. Can't wait to see you in class!

3年間のカリキュラム例（令和7年度入学生教育課程）※1

1年次はすべての生徒が共通して学習。2年次 から文系と理系とに分かれます。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	共通	現代の国語(2)	言語文化(2)	地理総合(2)	歴史総合(2)	SS数学ⅠA(4)				SS数学ⅡB(2)	SS物理基礎(2)	SS生物基礎(2)	体育(2)	保健(1)	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ(2)	英語コミュニケーションⅠ(4)	論理・表現Ⅰ(2)	SS情報Ⅰ(1)	SSH探究基礎(2)	LHR(1)															
2年	文系	論理国語(2)	文学国語(2)	古典探究(2)	地理探究(3)/日本史探究(3)/世界史探究(3)から6単位(6)				公共(2)	SS数学ⅡB(3)	数学C(1)	SS化学基礎(2)	体育(2)	保健(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)	論理・表現Ⅱ(2)	SS家庭基礎(2)	SSH科学探究Ⅰ(1)	SSH探究総合(1)※2	LHR(1)															
	理系	論理国語(2)	古典探究(2)	公共(2)	地理探究/日本史探究(2)	SS数学ⅡB(4)				数学ⅢC(2)	SS化学基礎(2)	SS化学(2)	SS物理/SS生物(2)	体育(2)	保健(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)	論理・表現Ⅱ(2)	SS家庭基礎(2)	SSH科学探究Ⅰ(1~2)	SSH探究総合(1)※2	LHR(1)														
3年	文系	論理国語(2)	文学国語(2)	古典探究(3)		探究地理詳解(3)/探究日本史詳解(3)/探究世界史詳解(3)/政治・経済(3)から6単位(6)				数学C(1)	探究数学(4)			探究物理/探究化学/探究生物から2科目(4)			体育(3)	英語コミュニケーションⅢ(4)		論理・表現Ⅲ(2)	SSH科学探究Ⅱ(1)	LHR(1)													
	理系	論理国語(2)	古典探究(3)		地理探究/日本史探究(2)	数学ⅢC(4)			探究数学詳解(3)		SS物理/SS生物(4)			SS化学(4)			体育(3)	英語コミュニケーションⅢ(4)		論理・表現Ⅲ(2)	SSH科学探究Ⅱ(1)	LHR(1)													

※1 新課程における入試科目の発表により、今後変更する可能性があります。 ※2 2年のSSH科目は、希望により1単位増で履修できます。

鍛える力 磨く技 流す汗

部活動

仲間と汗を流した日々は一生の糧に。
前高では部活動を、「競技を通じた人間形成の場である」と考えています。



剣道



バレーボール



硬式野球



バドミントン



テニス



弓道



サッカー



山岳



ソフトテニス



学芸部・同好会 総務局直屬部

吹奏楽部



鉄道研究



ギター・マンドリン



書道部



大道芸



科学・物理

学芸部

●文芸（全国高等学校文芸コンクール詩部門入選） ●音楽（全国総合文化祭出場、県声楽アンサンブルコンテスト銀賞、県合唱コンクール銀賞） ●写真（朝日中学生高校生フォトコンテスト優秀賞） ●将棋（全国大会出場） ●囲碁（全国大会・全国選抜優勝、全国高校囲碁選抜大会9路盤個人4位） ●演劇 ●書道（全国総合文化祭出場） ●美術 ●科学・物理（ぐんまプログラミングアワード2023IoT部門優勝 総合優勝・総務大臣賞） ●地歴 ●ギター・マンドリン（全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール4位大阪府知事賞） ●茶道（群馬県大茶会参加） ●百人一首かるた（全国総合文化祭出場） ●JRC ●大道芸 ●鉄道研究（全国高等学校鉄道模型コンテストモジュール部門ベストクリエイティブ賞） ●ディベート（全国大会出場）

同好会

●家庭科 ●クイズ研究(夏のセンバツAQLトップリーグ出場) ●探究

総務局直屬部

●吹奏楽(県コンクール高校Bの部金賞、西関東大会出場) ●放送 ●応援

(カッコ内は過去5年間の主な成績)

体育部

- 陸上競技(全国大会出場)
- バスケットボール(県大会ベスト8)
- バレーボール(県大会ベスト16)
- サッカー(県大会準優勝)
- ラグビー(県大会ベスト8)
- 硬式野球(県大会ベスト8)
- 軟式野球(関東大会出場)
- テニス(県大会団体ベスト8)
- ソフトテニス(県大会団体ベスト8)
- 卓球(全国大会個人第3位)
- 柔道(インターハイ個人出場)
- 剣道(インターハイ・全国選抜大会団体出場)
- 弓道(インターハイ出場)
- 空手道(県大会個人第3位)
- 山岳(インターハイ第2位)
- 水泳(インターハイ出場)
- スキー・スケート(全国大会出場)
- ハンドボール(関東大会出場)
- 少林寺拳法(インターハイ個人出場、世界大会東京大会組演武出場)
- バドミントン(関東大会出場、県大会団体3位)

(カッコ内は過去5年間の主な成績)



トレーニングルーム

様々な器具がそろい、体育部を中心に身体を鍛えています。140周年を迎えるにあたり、改装して、さらに利用しやすくなりました。



蛟龍館

1階は学生食堂、3階は学芸部の活動場所であり、いろいろな団体の合宿所としても利用します。

仲間と情熱燃やせ 三大行事

蛟龍祭、優曇華、定期戦の三大行事は、前高生が高校生活において、最も情熱を燃やして取り組む行事です。行事を通して仲間との絆を育み、生涯の友へとその関係を深めていくことができます。

こう りょう さい 隔年6月 蛟龍祭(文化祭)



第59回
蛟龍祭実行委員長
新井 康介
前橋市立東中学校出身

2年に一度行われる前橋高校の文化祭「蛟龍祭」

予算案の作成から企画の立案、当日の運営まで全てが生徒主体となって行われます。

蛟龍祭を作り上げるための総準備期間は実に1年以上。全生徒の半数以上が実行委員となり、蛟龍祭の2日間のために大規模アーチを作ったり、さまざまなイベントを作り上げたりしています！準備期間を通してクラスの絆が深まったり他学年との交流ができていくことも蛟龍祭の魅力です。さまざまなイベントの中でも歌声を披露する「のど自慢」や個人・パフォーマンス部門のある「コスコン」は目玉イベントであり、毎年会場を沸かせます。生徒全員が主役となり、作り上げる前高三大行事の一つ「蛟龍祭」をぜひ皆様自身でご体感ください！



行事

てい き せん 定期戦

9月



第79回
定期戦実行委員長
成田 拓夢
前橋市立南橋中学校出身

天下分け目の熱き戦い

毎年9月に開催される定期戦は、前橋高校と高崎高校の生徒が様々なスポーツを通してぶつかり合う、伝統のある行事です。総勢1700人の覇気に満ちた男たちが、自校のプライドをかけて競い合うこの定期戦は、全国的に見ても珍しく、唯一無二の経験となるでしょう。三兎を追い求める我ら前高生と共に、約80年という長い歴史を誇る定期戦に新たな1ページを刻み込みましょう。絶対王者、前高を。必勝前橋。



う どん げ 優曇華

7月



第61回
優曇華実行委員長
茂木 遼太
前橋市立第五中学校出身

前高に咲く華やかな演奏会「優曇華」

「優曇華」は「ギター・マンドリン部」「音楽部」「吹奏楽部」の前高音楽三部による合同演奏会です。各部のステージはもちろん、フィナーレには三部合同ステージもあり、会場全体が一つとなって、盛り上がるものになっています。「優曇華」は音楽三部の部員だけではなく、前橋高校の多くの生徒や先生、外部の方々の協力によって成り立っていて、前高生が音楽を通じて心をつなげることができる場でもあります。

優曇華は3000年に一度咲くという伝説の花です。毎年開催している演奏会ですが、毎年違う顔をもち、その年の「優曇華」として、とても貴重なものです。だからこそ、会場に足を運んでくださった観客の方々、前高生、出演者、演奏会をサポートして下さる方々の全員が本気で楽しめるステージにするために、音楽三部部員は日々精進しています。

前高、そしてこの演奏会に関わるすべての人の心に優曇華の花を咲かせるように！



その他行事

学校生活がより充実する行事は他にもたくさん開催されます。学習・部活動・行事の3つに全力で取り組むのが本物の前高生です。



進路 進路実現を徹底サポート 前高からかける橋

令和7年 入試結果

東京大学 現役5名 京都大学 現役3名
国公立医学部医学科 現役13名

前高の進路指導 3つの基本方針

- 3年間を見通した進路指導計画
- 進路学習の充実
- 学力の向上と進学指導の充実



学習合宿 ▶ 仲間と支えあい、地力を養う



学習支援

- 平常時補習（希望制）、長期休業中補習（夏季・冬季）
- 校内外模試・実力テスト
- 学習合宿…志賀高原（1・2年）、孺恋高原（3年）、4泊5日
- 冬期集中学習会（3年）…11日間（冬季休業中）
- 自習室の確保…蛟龍館1階（1・2年）、蛟龍館2階（3年）、図書室
- 個別添削指導…志望大学に応じて細やかな指導を実施



東大見学会 ▶ 現役東大生の話を聞く



進路行事

- 進路講演会（生徒対象・保護者対象）
- 大学見学会（東京大／東北大）
- 難関大・難関学部進学セミナー（東京大／医学部）
- インターンシップ（就業体験）

進路指導

- 本校独自「進学の手引」や「学習の指針」等の資料活用
- 志望校検討会、模試分析会議等での学力検討
- 面談（二者面談・三者面談）
- 進路指導室（大学別過去問題集1200冊蔵）



添削・相談 ▶ 個に応じたきめ細かな指導が受けられる



進路室 ▶ 参考書などの貸し出しがある

大学別合格者数（過去3年間）

（ ）内は現役合格者数、外は現役+既卒の合格者数、「-」は受験者なし

国立大学

大学名	R5年	R6年	R7年
北海道大	6(2)	10(7)	9(8)
東北大	13(10)	10(9)	24(21)
筑波大	6(5)	6(6)	3(2)
群馬大	37(26)	33(29)	28(23)
(情報)	7(5)	2(2)	1(1)
(共同教育)	6(6)	14(13)	10(9)
(理工)	10(6)	7(5)	8(8)
(医<医>)	13(8)	9(8)	9(5)
(医<保>)	1(1)	1(1)	-
埼玉大	3(3)	2(1)	5(5)
千葉大	3(3)	8(8)	8(4)
東京大	5(3)	7(6)	6(5)
東京外大	3(3)	1(1)	1(1)
東京学芸大	5(5)	2(1)	1(1)
東京工業大	1(1)	2(1)	-
東京科学大	-	-	1(1)
一橋大	1(1)	3(2)	2(2)
横浜国立大	5(5)	5(4)	5(4)
新潟大	14(13)	11(9)	24(22)
金沢大	10(7)	12(8)	11(11)
名古屋大	3(2)	0(0)	2(1)
京都大	7(7)	4(3)	4(3)
大阪大	0(0)	4(3)	3(3)
国立大学計	161 (127)	169 (134)	171 (141)

公立大学

大学名	R5年	R6年	R7年
高崎経済大	6(4)	8(8)	10(10)
東京都立大	2(2)	4(3)	1(1)
公立大学計	14 (11)	21 (16)	16 (16)

私立大学

大学名	R5年	R6年	R7年
青山学院大	15(13)	8(7)	21(19)
学習院大	5(5)	7(5)	19(10)
慶應義塾大	13(9)	25(15)	24(12)
芝浦工業大	76(50)	33(26)	58(54)
上智大	4(3)	4(3)	5(5)
中央大	58(52)	53(44)	44(35)
東京理科大	57(44)	51(30)	60(51)
日本大	24(20)	29(25)	31(27)
法政大	38(30)	42(32)	71(63)
明治大	60(46)	76(64)	69(51)
立教大	6(5)	16(8)	23(19)
早稲田大	26(23)	40(30)	30(24)
同志社大	5(3)	1(1)	8(6)
立命館大	14(12)	11(9)	17(12)
私立大学計	614 (490)	647 (490)	768 (651)

総計	R5年	R6年	R7年
	798 (634)	843 (644)	958 (810)

※総計には文部科学省所轄外の大学校等も含む



東京大学文科I類 **星野 慎太郎** (令和6年度卒)
みどり市立大間々東中学校出身

県下一の高校である前高には、優秀で多様な仲間が集います。私はその仲間たちとともに、山岳部や文芸部、生徒会などの活動に取り組みながら、学業との両立を図りました。忙しい日々が折れそうになることもありましたが、親身に寄り添ってくださった先生方や友の支えのおかげで、その都度乗り越えることができました。仲間と切磋琢磨して学力を伸ばし、第一志望の進路を実現できたのは、前高という最高の環境でこそ成し得たことです。全校の一体感と男子校ならではの熱気に包まれる三人行事も前高の大きな魅力で、特に昨年の定期戦では九年ぶりの勝利をおさめることができ、喜びもひとしおでした。かけがえのない仲間と苦楽を共にし、挑戦を繰り返す前高での三年間が皆さんを成長させ、将来へとつながることを一人のOBとして確信しています。ぜひ前高に来てくださいね。お待ちしております。



前高生のバイブル

先輩の体験やデータから合格までの道筋が見える！

イノベティブ・コンピテンシーを育成 する科学教育プログラム

SSH

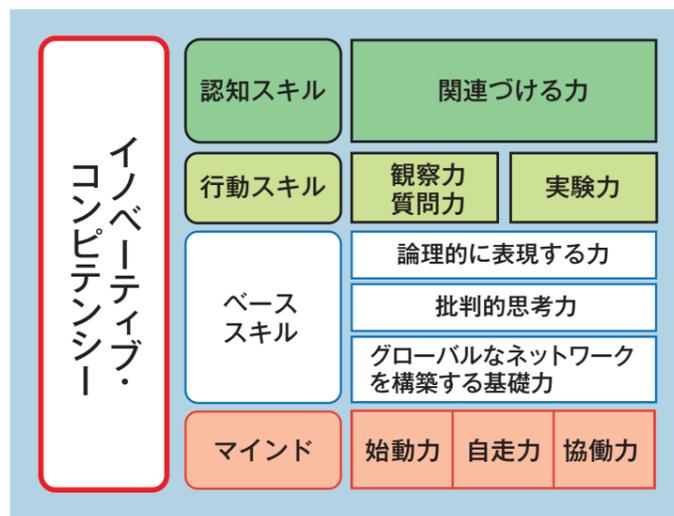
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)Ⅱ期が始まりました！

本校は、令和元年度から文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」に指定されています。SSHは理数教育に重点を置いたカリキュラム開発・実践、大学や研究機関等と連携した課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を通じて、将来の国際的な科学技術人材を育成しようとするものです。本校は今年で7年目になります。

前高SSHはイノベータを育成します！

本校は研究開発課題として、「イノベティブ・コンピテンシーを育成する科学教育プログラムの開発」を掲げています。

イノベータとは「イノベーション (技術革新) を創出するグローバルな人材」のことです。令和元年から5年度まではⅠ期として、右図の認知スキルからベーススキルのイノベータに必要な資質能力の育成を行ってきました。今年度のⅡ期からはそれらに加え、非認知能力であるイノベータマインドの育成を行い、またSS数学など新たなカリキュラムの開発を行っていきます。



課題研究 研究テーマ例

- 交通事故を未然防止「マモールくん」の開発
- 圧電素子を用いた発電の活用
- 画像処理で金印の真偽に迫る
- 新発見！工芸品店の魅力～前橋の中心街から目指せ地方創生～

自然科学分野だけでなく、人文科学や社会科学の課題研究にも取り組んでいます。また、近年は、Linuxを用いた機械学習やラズベリーパイを用いたIoT機器によるプロダクト研究といった情報分野を活用した社会課題解決を目指した研究も増えてきました。



課題研究の1年間の流れ(例:2年生)



1年間をかけて本格的な研究活動を行い、イノベータの資質が育成される。

高度な課題研究

1年では「探究基礎」、2年では「科学探究Ⅰ」、3年では「科学探究Ⅱ」という学校設定科目で課題研究を行います。大学レベルの実験装置や器具を扱うことができ、また、大学の先生方や研究機関等の専門家、本校OBの現役大学生などから指導を直接受けることで、より充実した研究を行うことが可能になります。



全国SSH発表会



校内発表会

充実した研究環境



岩崎 拓未

【みどり市立大間々中学校出身】

課題研究は前橋高校が力を入れている、生徒自身が興味を持ったテーマに基づいて課題を設定し、実験や調査、考察を通して学んでいく活動です。前橋高校では、高度な実験装置や専門的な器具を使える環境が整っており、大学の教授や専門機関の方々から直接指導を受けられる機会もあります。そのため、より本格的で専門的な研究に取り組むことができます。私の班では、太陽の近くを通る雲が虹色に染まる自然現象「彩雲」について研究しています。彩雲の発生条件やメカニズムを明らかにするために、室内での再現実験を行いました。また、群馬県理科学研究発表会やサイエンスキャスルなどの学会に参加し、他校の生徒と意見を交わすことで、新たな視点や気づきを得ることができました。こうした探究活動を通して、課題を自ら見つけ、考え、仲間と協力して取り組む力を養うことができたと感じています。自分の「好き」や「気になること」に素直に向き合い、挑戦を恐れずに探究活動に取り組むことは、自分の将来の可能性を広げることができると思っています。

SS研修旅行

1学年全員参加の東京方面研修と1、2学年希望者での筑波研修があります。大学・企業・研究所で見学と研修を行い、自身の課題を追求・解決しようとする自主的・意欲的態度を高めます。

SS研修旅行 (東京方面)

東京大学、(株)東京証券取引所、外務省、理化学研究所、(株)ベネッセコーポレーション、国立感染症研究所 など

SS研修旅行 (筑波方面)

筑波宇宙センター、原子力科学館、KEKコミュニケーションプラザ、霞ヶ浦環境科学センター、サイエンス・スクエアつくば など



理化学研究所・先端技術館@tepia (3Dホログラムの体験)



JAXA筑波宇宙センター

充実した理数カリキュラム

SS物理やSS生物、SS情報ⅠといったSSHならではの学校設定科目があり、通常の授業で探究的な深い学びをすることができます。理科の授業では実験が多く取り入れられており、生成AIを活用したディベートの授業なども行われています。さらに、物理×数学、科学探究×英語など、教科横断的な学習プログラム（クロスカリキュラム）も実施されており、イノベータに必要な関連付ける力などを育成しています。



物理×数学



英語×現代社会

→労働者不足を補うための積極的な移民受入の是非

さまざまな実験演習



ディベート

前高にしかない、
深い授業がここにある！

市・大学・企業との連携

新入生には探究活動の進め方について、例年、外部講師によるイノベータ講演会を実施しています。また、今年度より全学年を対象に大学の教授や研究者を招き、多くの講座から選択できるSSH講演会も年3回程度実施していきます。さらに、前橋市や県庁などと連携し、地域をテーマとした課題研究にも引き続き取り組んでいきます。



イノベータ講演会

講師 共愛学園前橋国際大学
学長 大森 昭生 先生
演題 「答えがないから面白い
～課題研究の意義と進め方～」

SSH講演会

講師 NPO法人宇宙アドバイザー協会
代表 富永 和江 先生
演題 「日本の宇宙開発とJAXAの役割」

講師 株式会社 FUTURENAUT
CEO 櫻井 蓮 先生
演題 「食用コオロギを使った昆虫食とSDGsの関わり」

講師 物質・材料研究機構 (NIMS)
平井 悠一 先生
演題 「『考え方』を学ぶ～光る分子の研究
と国際経験で得たもの」

Oxbridge研修

3月に参加希望者（1・2年）が、イギリスのオックスフォード大学とケンブリッジ大学に8日間の研修旅行に行きます。イギリスの伝統的な風景の中、世界トップレベルの大学で学ぶ研究者や各国から集まる学生と交流を持つことで一流の生き方を学び、グローバル社会のリーダーとして活躍する気宇を養います。渡航前にオリエンテーション及びALTによる研修など充実した事前研修を実施し、帰国後にはその成果を全校生徒の前で発表します。参加生徒の成長に目を見張ると評判の高い研修です。



現地学生とのセッション



プレゼンテーション後



市内観光

科学の甲子園

科学の甲子園は各都道府県の代表校47チームで数学・情報・物理・化学・生物・地学の各分野の内容を含んだ筆記競技・実技競技①～③の4部門に挑み、科学の総合知や活用力を競い合う大会です。全国大会に出場するためには、県予選で1位にならないとなりません。2024年の科学の甲子園県予選においては、筆記では優勝したものの、総合で第3位となり、全国への出場はできませんでした。2021年には県予選で優勝し、「科学の甲子園」全国大会に出場でき、総合成績では10位入賞、実技競技③では第1位となり、アジレント・テクノロジー賞を受賞しました。

私達は科学の甲子園県大会に参加しました。昨年度は筆記、実技の2部門で行われました。

筆記対策では、数ヶ月前からチームで集まって過去問を解いたりしました。身近なことに関する問題から昔の科学技術、さらには英語での出題まで、様々な角度から問われる面白い問題にチームで取り組めたことが印象に残っています。私は化学を担当し、所属するクイズ研究同好会で得た知識をうまく活かして、化学分野は満点、筆記部門では1位を獲得することができました。

実技では、事前に与えられた課題を基に1ヶ月間準備を行い、当日に設計図を用いて会場で装置を製作し、競技に臨みました。先生からの助言も受けつつ、皆で意見を出し合いながら装置を準備し、実技では3位を獲得できました。

しかし、実技寄りの配点だったこともあり、総合順位は3位でした。全国大会へ進めず残念でしたが、科学の甲子園というひとつの目標にチームで努力したことは胸が熱くなりますし、同じく高みを目指す友人と巡り会えたことは何よりの宝となっています。

後輩の皆さんには悲願の大会優勝を果たし、全国に絶対王者・前橋の姿を見せつけることを願っています。

吉岡町立吉岡中学校出身
平山 陸



実技競技（上）・実験競技（下）の様子

発見 自分らしさの羅針盤 ～様々な学習支援と新たな取組～

学校外の教育活動に参加

教室の枠に、前高は縛られない

校内における学習のみならず、校外で行われる教育活動にも積極的に参加することで、幅広い知識と多様な価値観を身につけるよう促しています。

外部教育活動への参加、申し込み状況(令和6年度) 335名(延べ人数)

県数学コンテスト/県数学キャンプ/科学の甲子園/数学オリンピック/化学グランプリ/全国物理コンテスト 物理チャレンジ/科学地理オリンピック/日本情報オリンピック/SSH 生徒研究発表会/JSEC2024(第22回高校生・高専生技術チャレンジ)/東京理科大学主催「坊ちゃん科学賞」/ぐんまプログラミングアワード/中高生情報学研究コンテスト/サイエンスキャスル/グローバル始動人プレゼンアワード/始動人 jr インキュベーション/清流の国ぎふ総文祭 自然科学部門出場/始動人 Jr. キャンプ/ぐんまデジタルイノベーションチャレンジ 他

「前高キャリア・メディカル」(医学部志望者支援システム)

医学科進学を希望する1・2年生を対象に、様々な支援を行っています。

主な取組内容

- 講演会
- 大学医学部や病院の見学・実習
(各大学・医療機関等の取組に積極的に参加)
- 医学生(本校OB)や若手医師との交流(懇談会等)
- 受験対策(医学部受験に向けた情報提供や小論文対策指導等)
- 各種機関が行うセミナーへの参加



前高OB現役医師による講演会

医師の責任・やりがい・勤務実態などを知った上で、自身の適性を早くから考えるとともに学習意欲を高めます。

現代医療の課題や地域医療の意義を学ぶとともに、医療体験などを通して、医師を目指す心を育みます。

SAH協力校としての取り組み

令和6年度から群馬県より「SAH(Student Agency High School)協力校」として指定をされました。

SAHでは生徒のエンジェンシー(自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力)を重視し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育成することを目的としています。

本校では、学習、部活動、行事の全てを通して取り組みを進めていきます。



ぐんまデジタルイノベーションチャレンジ事業

矢沢 柁【前橋市立第一中学校出身】・田部井 翼【前橋市立第一中学校出身】・斎藤 竜之介【前橋市立第一中学校出身】



私たちは、科学・物理部の活動と探究総合の中で、桜や梅などのバラ科の樹木を枯らす特定外来生物クビアカツヤカミキリ(通称:クビアカ)から桜を守るためのシステム「カミキリキャプターさくら」を開発しています。このシステムはクビアカの幼虫が出す痕跡(フラス)を物体検出AIで自動発見しwebマップに発生した場所を記録するものです。プログラミング初心者であった私達は、ぐんまデジタルイノベーションチャレンジの支援と指導を受けながら、プログラムの書き方やAIの使い方を学びながら、システムの実装を行いなんとか形にすることができました。この成果が認められ、ぐんまプログラミングアワードではファイナルステージ出場、始動人Jr.インキュベーションでは企業のマッチングピッチに参加して秋間梅林の梅農家さんとのマッチングに成功、第7回中高生情報学研究コンテストでは全国大会に出場し奨励賞を受賞することができました。また、研究を進めている中で大学の先生の支援を受け、学問的な指導をいただくだけでなく、サーバーの提供をいただき、新たに画像処理の手法を教えることで、より高度な研究ができるようになりました。群馬県で生産が多い梅もクビアカの脅威

にさらされているため、現在では梅農園向けのシステムも開発しています。群馬県庁のクビアカの対策をしている職員の方々や秋間梅林の梅農家さん、システムや実証実験についてご意見・ご協力をいただき実用化に向けて開発に努めています。本校はSSH指定校であり、実験器具の購入の援助が受けことができ、科学・物理部の活動だけでなく探究総合という授業でも研究を進めることができます。また、ぐんまデジタルイノベーションチャレンジ事業にも採択されており、県内の名だたる企業様と連携して研究を行うことができます。そのため、技術面などでわからないことがあっても頼れる先生方、先輩方、そして企業様がいるため、興味のある分野を自由に全力で研究することができます。皆さんも前高に入学して充実した学校生活を送り成長してみませんか。

高校生数学キャンプ

加藤 英士【前橋市立箱田中学校】



数学キャンプは、東大の教授による講義、それを踏まえた研究発表を行う県主催の行事で、群馬県高校生数学コンテストの成績優秀者の内、希望者が参加します。行事全体のテーマは複素数平面で、1日目は「複素数平面と平面図形」と「代数学の基本定理」と「一次分数変換」について学びました。1日目の講義をもとに研究テーマを決め研究し、発表を行います。我々は「二次曲線の1/zによる像」について研究・発表を行いました。発表後、教授方から助言をいただき、より詳しい内容までお話しいただきました。数学キャンプでは数学の面白さを追求するのはもちろん、数学を通して仲間との交流を楽しむことができます。皆さんも是非参加してみてください。

明石塾

関根 悠仁【伊勢崎市立宮郷中学校】



明石塾はグローバル人材育成プログラムであり、将来グローバルに活躍するために必要な様々な能力—多様な視点から物事を見る能力、英語力、コミュニケーション能力などを身につけることができる場所となっています。内容としては主に①社会人講義②英語講義③フィールドワーク④海外研修があります。社会人講義では、大学の教授を始めとする、様々な分野で活躍している人から講義を受けることで多様な視点を身につけることができます。英語研修はすべてネイティブの講師によって英語で行われ、講義やグループディスカッションを通じて実用的な英語能力が身につけられます。また海外研修ではシンガポール・マレーシアに行き、多様な言語、宗教、人種、価値観に実際に触れることで、多様な背景を持つ人々と関わりとはどういうことなのか、学ぶことができます。この明石塾研修全体を通して言えることは、普通の学校生活を送っているだけでは出会えない、様々な考え方、

価値観を持つ人と交流することで多様な視点を身につけることができるということです。私は、多様な視点というのがグローバルに活躍するにあたって、最も重要なことだと思っています(その重要さも明石塾で学びました)。なので明石塾は、将来グローバルに活躍したいという思いを持っている人にはぜひとも参加して欲しい研修になっています。また明石塾は、海外研修に行くことができる、貴重な機会でもあると思いますし、高校生のうちに海外を経験しておくことのアドバンテージは非常に大きいと思います。前高生以外とのつながり、交流も意識して、前高に入学したら明石塾にも是非参加してください！

つどえ 男児の粹



糸井 重里 (昭和42年卒業)

コピーライターとして一世を風靡し、作詞、文筆、ゲーム制作など幅広い分野で活躍。1998年に立ち上げたウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」では、「ほぼ日手帳」をはじめとする様々なコンテンツ企画、開発を手掛ける。また「本で元気になる」をコンセプトに前橋市まちなかエリアで行う、本と人に出会えるイベント「前橋ブックフェス」を立案、企画運営に携わる。

先生という大人たち。

人が、まだ学生のうちに会える大人の数というのは、とてもかぎられています。そのほとんどは家族と先生です。その数少ない大人たちが、どれだけ大事だったかということ、ぼくはずいぶん年をとってから知りました。

前橋高校で出会った大人たち(つまり先生たち)が、大人ってというのは、こういうことを知ってるんだとか、こんなことに真剣になるんだとか夢中になれるんだとか、こんなことを悲しむんだとか怒るんだとか、こんなところに幸せを感じるんだとか、ときにはこんなに弱いものなんだとかを、自然にたくさん教えてくれました。それは、授業のなかでも、それ以外の時間のなかでも、たくさん。

土屋 裕雅 (昭和60年卒業)

早稲田大学商学部卒業後、野村證券株式会社入社。主に営業・IPO業務を経験し、1996年に株式会社いせや(現:ベイスシア)に入社。1998年にグループ会社であるカインズへ転籍。代表取締役社長を経て2019年より代表取締役会長。2022年4月にはベイスシア代表取締役会長にも就任し、IT化による社会の急速な変化に対応すべく、従来の小売業の概念を超えた新しいビジネスモデルの構築をめざして日々挑戦中である。



人生をDIY

若いころの環境は大人になってからの思考方法に影響するようだ。男子校の前橋高校は、当時から学生の自治を尊重してくれていた。学祭や高崎高校との定期戦、式典での国歌斉唱の是非まで…。様々なことが学生の話合いで決められていた。勉強するのも部活に専念するのも本人次第、枠にはめない自由な環境にどっぷりハマって、ぼくは音楽や映画に明け暮れていた。いま思うと、学生たちの行動を危なっかしいとは思いつつも寛大な気持ちで見守ってくれていたのだろう。この頃の前橋高校で身につけた自由闊達さが、現在のカインズの「DIY OF LIFE」の精神のベースになっている。



林 淑朗 (平成3年卒業)

群馬大学医学部卒。群馬大学大学院修了(医学博士)。集中治療専門医。麻酔科専門医。豪タインズランド大臨床研究センター上級講師などを経て亀田総合病院集中治療科主任部長。

基礎学力を養い高いリテラシーを手に入れろ!

皆さんが将来どんな分野に進むにしても、成功するには、より信頼度の高い情報を得てそれを論理的に理解し自身の行動に活かす能力(リテラシー)が必要です。リテラシーの基礎を支えるのは紛れもなく高校で学ぶ国語、数学、英語などの基礎学力です。リテラシーの高低は私達の日常的な学びの質を一生に渡って支配し、10年、20年で雲泥の差が生じます。これは大学入試の成功・失敗以上に重大な差となるでしょう。大人は皆知ってますが、高校時代の学びを卒業後に取り返すことはとても困難です。貴重な時間を大切に! 皆さんにはまだ大きな可能性が残っています。

OBからのメッセージ Message

蛭間 武久 (平成3年卒業)

早稲田大学商学部卒業後、NTTに入社。NTT東日本にてシステムインテグレーション、商品開発、事業戦略に携わった後、米IBM本社に出身し、グローバルマーケティング業務に従事。帰国後もマーケティング、人材育成、新規市場開拓など多岐にわたる分野で経験を重ね、2021年より東京エリアの法人営業部長として組織を牽引。2023年にはNTTデータのアジアパシフィック統括支社に出身し、シンガポールを拠点にグローバルビジネスの推進に尽力。2025年に帰国し、NTTドコモビジネス株式会社(旧NTTコミュニケーションズ)にて執行役員 北海道支社長に就任。

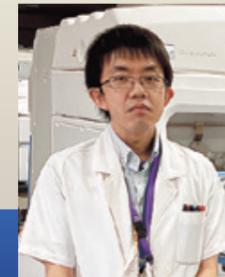


3年間の「学」と「友」は「一生の財産」に

中学生だった私は正直何も考えずに「県下No.1の高校」として自然に前橋高校に憧れ、その門を叩きました。3年間の生活は本当にかけがえのないものになりました。学業だけでなく、伝統のラグビー部にも入部し、その後の人生を生き抜いていくための胆力と、卒業後30年経ってもあせることの無い友情を手に入れました。毎年正月に帰郷した時に必ず会いたいメンバーはやはり苦楽を共にした前橋高校の友人たちであり、一瞬で当時に戻り、最高の時間を過ごすことができる仲間たちであります。学校として、自由な精神とクオリティの高い教育環境、そして素晴らしい先生たちがいらっしゃるの言うまでもないですが、集まってくるメンバーも本当に素晴らしい、それが前橋高校だと思います。

阿部 雅広 (平成16年卒業)

佐波郡境町(現:伊勢崎市)生まれ。東北大学医学部医学科卒業後、国家公務員共済組合連合会 虎の門病院入職。初期研修・内科後期研修を経て、臨床感染症科医員として臨床に従事した後、東北大学大学院医学系研究科 博士課程修了(医学博士)。現在は国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 真菌部室長として微生物(真菌)の基礎研究を行っている。



卒業後も続く学問の礎・交友関係構築の場

私は卒業後6年間臨床医として働いた後、現在は臨床医時代の経験を基に研究者として働いています。自分の経歴を振り返りますと、医学・基礎研究の知識の多くは大学・大学院、臨床医時代に学びましたが、これらの学問の礎を築いたのは前橋高校の3年間です。才能豊かで志の高い同級生・先生たちと、互いを尊重して意見し合い、切磋琢磨する中で多くを学び、学問への謙虚な姿勢と広い視野を養うことのできた高校生活は刺激的で楽しい経験でした。また、卒業後20年以上経った今でも、同級生・卒業生との縁は続いています。前橋高校で学ぶこと、それは学問の礎を築くと同時に、卒業後も続く交友関係を構築することにあります。「男児の粹をあつめたる」前橋高校で、ぜひ学んでみませんか?

松本 大 (平成14年卒)

吾妻郡嬭恋村出身。群馬大学大学院修了後、4年間の教職経験を経て、プロ山岳ランナーへ転向。アジア選手権初代王者。2013年に(一社)日本スカイランニング協会を設立し、代表理事を務める。現在はISF(国際スカイランニング連盟)のアスリート委員を兼務し、アジア各国における競技普及・選手交流を推進する。



世界を変えるチャンスがある場所

前橋高校に入学して数日後、部室から漂うギョウザの香りに誘われて、私は山岳部に入部しました。夏山合宿で初めて登った日本アルプスに感動し、世界の山にも登ってみたいと夢を膨らませたものです。前橋高校で過ごした3年間を振り返ると、学問も行事も部活動も、総じて生徒自らが主体的に取り組んでいました。生徒は常に主役であり、先生方は強力な裏方。私たち卒業生は「主体的な人生」を送るための勇気と知恵を身につけることができました。前橋高校を卒業して10年後、アジア勢として初めて欧州アルプスを転戦した私の挑戦は、アジア各国に変化をもたらしました。あの日のギョウザが世界を変えた。前橋高校はそういう場所です。

施設



前高全景

陸上トラック(400m)、野球場、テニスコート(4面)など充実した環境



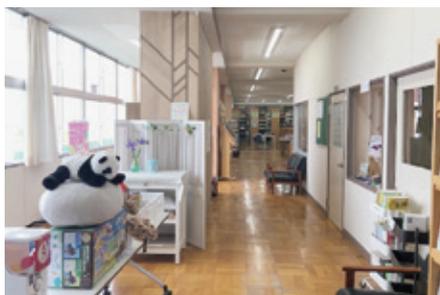
蛟龍館

創立100周年を記念して落成



記念館

前の校舎から移築された伝統ある建築物



図書室

四季折々の赤城山を一望できるソファに座りながら読書できる(蔵書数約5万冊)



正面玄関内

画家・書家(OB)寄贈の作品を多数展示



中庭

前高の長い歴史を表現したモニュメントも設置

学校案内図



周辺アクセス

JR前橋駅から自転車15分
JR前橋大島駅から自転車20分
上毛電鉄片貝駅から徒歩5分、自転車2分

県内主要駅から前橋駅までの所要時間(分)



群馬県立前橋高等学校

〒371-0011

群馬県前橋市下沖町 321 番地 1

TEL : 027-232-1155 (代)

FAX : 027-233-1046

URL : <https://maebashi-hs.gsn.ed.jp/>

E-mail : maebashi-hs@edu-g.gsn.ed.jp

【表紙題字 田口 慧(群馬大学附属中学校出身)】



学校HP



学校Instagram